

# 岩井歯科クリニックかわら版

No.23 2016.01.

## ✦ ご挨拶



「ホワイトアウト」・・・幾度となくニュースで聞いた「視界ゼロ」の猛吹雪が、まさか自分の身に降りかかるとは思ってもみませんでした。車に乗ってウン十年、先日の大寒波で初めて、立ち往生してしまいました。しかも、自宅から数百メートルしか離れていない所で。気付いて下さった方に助けられ事なきを得ましたが、辺り一面真っ白ならば頭の中も真っ白で・・・本当に肝を冷やしました。

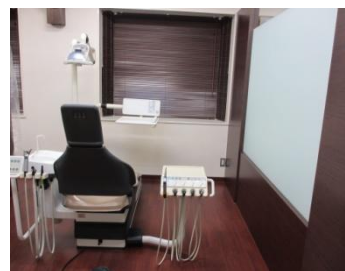
こんな状況ですから、雪に慣れているはずの富山でも目も当てられないくらいの大混乱に・・・。そんななか、なんと「北陸新幹線」だけが！運休はおろか遅延もせず、「平常通り」運行していたとのこと。本当にスゴイ！驚くばかりです。最近「最強最大」という言葉が、毎年更新されるような異常気象続きですが、それに順応していく「しなやかさ」を持ち合わせていなければいけないようです。

もうすぐ立春。本当の春が待ち遠しいですね。気候不順の折、皆様くれぐれもお身体を大切にお過ごし下さいますようお願い申し上げます。

## ✦ ニューフェイス

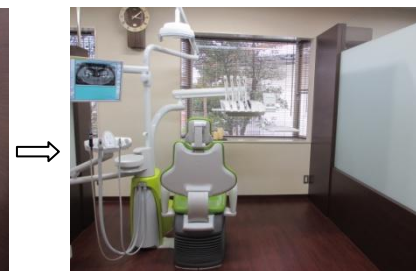
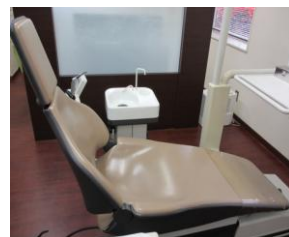
平成2年クリニック開設以来、私は「**高品位、かつ最善の治療**」を提供することを診療理念に掲げてまいりました。「生体親和性」の高い治療をすることで、身体に無理な負荷を掛けることなく、「健康寿命＝健康で自立できている期間」の延伸に寄与できると考えているからです。

「入れ歯」と「咬み合わせ」を専門としております関係上、歯科医院においても患者さんの普段に近い状況：いかに日常生活に近付くか、という点が課題となります。というのも、「咬み合わせ」は姿勢に左右されて、常に変化していくからです。できるだけ自然な状態、リラックスした姿勢で治療を受けることが大切なのです。そのため、昨年末にご高齢の方にも配慮し、より精度の高い治療ができるよう新しい設備を導入しました。今号から院内設備の一部をご紹介します。



(before)

シーメンス社製(ドイツ)



(after) カボ社製(ドイツ)

診療台の右側がスッキリです。広々スペースで、出入りが楽になりました。



足折れ式になりました。診療台の前方も大きく開けていますので、スムーズに座って頂けます。治療の際は横(水平位)になります。うがいをする洗面部が前方に動き、楽な姿勢を保てます。

ドイツ製の歯科診療台は、いずれも丈夫で長持ちします。旧設備も良品でしたが、足を投げ出して座る形(左上写真)になります。しかし、お食事をこんな姿勢で召し上がる方はいないと思います。この状態ですと「咬み合わせ」にも狂いが生じ、お口に正確な情報を反映することができません。できるだけ自然な姿勢で「咬み合わせ」の位置決めをすることが重要なのです。(右上写真)

◎歯の治療にはミクロン単位の精度が必要です。この診療台は身体構造を分析し、患者さんの負担を軽減するよう人間工学的に設計され、快適性を追求しています。

◎診療台に行き渡るお水は、「水消毒システム」採用でいつもキレイです。その他、高度テクノロジー搭載により、患者さんに安心と安全をもたらしてくれます。

全身の「健康を創る」源は、「食」にあります。食を支えるのは「歯」です。生活の医療ともいわれる歯科治療を通して、これからも皆様の「生きるチカラ」をお支えできるよう努めてまいります。今後ともどうぞ宜しくお願い致します。

(このニュースレターに関する皆様からのご意見・ご感想などをお寄せいただければ幸いです。)